

防災に対する意識と取り組み

兵庫県は、安全・安心な社会づくりに向けて、阪神・淡路大震災以降、総合的な防災や減災のための対策を推進しています。昨年は大阪府北部地震や7月豪雨、台風第20号、21号など災害が相次ぎ、また、近い将来の発生が確実視されている南海トラフ地震では強い揺れや津波が広範囲にわたって生じると予想されるなど、命を守るためには日頃の備えが重要です。

今後のさらなる防災・減災対策に役立てる目的のため、災害に対する意見や地域における備えの現状について、ご回答願います。

参考URL : (参考資料ページのURLを記載)

[県民のリスク認識]

Q1 あなたが住んでいる地域は、自然災害（地震、津波、土砂災害、洪水等の災害）に対して安全だと思いますか。

- 安全
- まあ安全
- やや危険
- 危険
- わからない

Q2 あなたは「兵庫県CGハザードマップ」()を知っていますか。

5つの自然災害（洪水・土砂災害・津波・高潮・ため池災害）による浸水想定区域や危険箇所が確認できるほか、土砂災害の危険度や河川・港湾のライブカメラ等の観測情報、避難時に必要な知識など、防災・減災に役立つ情報を掲載したホームページ（兵庫県CGハザードマップURL参照）

- 見て、災害に備えて、身のまわりの災害による危険箇所などを確認している
- 見たことはある
- 言葉は知っているが、見たことはない
- 全く知らない

Q3 あなたは、気象情報やハザードマップなどの防災に関する情報を平常時や台風の接近など危険が近づきつつある時にどちらから入手されていますか。（いくつでも）

- ひょうご防災ネット (<http://bosai.net/regist/>)
- 国、県、市町などの行政機関の広報誌やホームページ
- Yahoo、Googleなどのポータルサイト
- スマートフォンのアプリ
- 新聞
- テレビ
- CATV

ラジオ
友人、知人や家族
地域の人（自治会長等）
防災無線のアナウンス
半鐘・サイレン
その他（下欄に具体的にご記入ください）

Q 4 あなたが住んでいる地域に、この1年以内に市町から災害時の避難情報（「避難準備・高齢者等避難開始」・「避難勧告」・「避難指示（緊急）」）が発令されましたか。

発令された
発令されなかった
発令されたかどうか知らない

Q 5 前問で、「発令された」と回答された方にお伺いします。
災害時の避難情報が発令された際に避難行動をとりましたか。

【避難行動の例】

避難所への立退き避難

「近隣の安全な場所」（近隣のより安全な場所・建物等）への立退き避難

「屋内安全確保」（その時点で居る建物内において、より安全な部屋等への移動）

避難行動をとった（下欄に避難行動の内容を具体的に記入ください）

避難行動をとらなかった（下欄にとらなかった理由を記入ください）

Q 6 弾道ミサイル情報、緊急地震速報、津波警報などを携帯電話・スマートフォンなどでお知らせする「Jアラート（全国瞬時警報システム）」について知っていますか。

内容も含め、知っている
言葉は見聞きしたことがあるが、内容は知らない
知らない

[自助の課題への取組]

Q 7 あなたの家では、災害に備え、普段からどのようなことについて、家族で話し合いをしていますか。（いくつでも）

住んでいる地域の避難場所・避難経路の確認
災害時の家族との安否確認・連絡方法
非常用食料、持ち出し品等の保管場所、使用方法
その他、災害発生時の行動、災害への備え等
していない

Q 8 お住まいの地区で指定された避難場所を知っていますか。

知っている
知らない

Q 9 あなたは、災害時の避難情報（「避難準備・高齢者等避難開始」・「避難勧告」・「避難指示（緊急）」）について、その情報をどのような手段で提供して欲しいですか。あてはまるものをお選びください。（いくつでも）

| | |
|---------------------|-------------|
| 防災無線のアナウンス | 市町の広報車や消防車両 |
| インターネット（ホームページ） | 地域の人（自治会長等） |
| 友人、知人や家族 | C A T V |
| テレビ | ひょうご防災ネット |
| 緊急速報メール（エリアメール） | ラジオ |
| 半鐘・サイレン | スマートフォンのアプリ |
| その他（下欄に具体的にご記入ください） | |

Q10 お住まいの戸建て住宅・マンション等（賃貸除く）が、昭和56年以前に建築された方のみお答えください。（木造・鉄筋コンクリート・鉄骨造住宅にかかわらず）あなたは、耐震診断又は耐震補強をしましたか。

耐震診断をした結果、耐震補強の必要は無かった
耐震診断をした結果、耐震補強の必要があると診断されたが、現時点ではしていない（下欄にしていない理由を記入ください）
耐震診断及び耐震補強をしていない（下欄にしていない理由を記入ください）
耐震補強をした
耐震診断や耐震補強をしたかどうかわからない

Q11 あなたが災害に備えてしていること、現時点ではしていないが、できればしたいと思っていることについて、あてはまるものを次の中からお選びください。（いくつでも）

家具等の固定をしている
家具等の固定をできればしたい（下欄にしていない理由を記入ください）
家具等の固定は将来にわたってしない（下欄にしない理由を記入ください）
飲料水や食料品の備蓄をしている
飲料水や食料品の備蓄をできればしたい（下欄にしていない理由を記入ください）
飲料品や食料品の備蓄は将来にわたってしない（下欄にしない理由を記入ください）
携帯トイレ又は凝固剤の備蓄をしている
携帯トイレ又は凝固剤の備蓄をできればしたい（下欄にしていない理由を記入ください）

携帯トイレ又は凝固剤の備蓄は将来にわたってしない(下欄にしない理由を記入ください)

Q12 前問で「飲料水や食料品の備蓄をしている」と回答された方にお伺いします。家庭での備蓄は何日分ですか。(【飲料水】と【食料品】それぞれ一つずつ)

1日分は、飲料水では一人3リットル、食料品では3食分を目安に、それぞれ家族全員で何日分備蓄があるかお答えください。

飲料水を1日～2日分

食料品を1日～2日分

飲料水を3日分

食料品を3日分

飲料水を4日～6日分

食料品を4日～6日分

飲料水を7日以上

食料品を7日以上

[共助の課題への取組]

Q13 あなたは、この1年の間に県や市町、自治会などが行った自然災害に対する防災訓練に参加したことがありますか。

【訓練例】

自治体・学校・職場等が実施する訓練、県・市町が実施する防災訓練、シェイクアウト訓練()等

()事前登録をして、簡単なルールにより、各参加者が決められた日時に、各自それぞれの場所で自主的に行う一斉訓練

参加したことがある(訓練名称が分かれば、下欄にご記入ください)

参加したことがない。でも機会があれば参加したい

参加したことがない。今後も参加するつもりはない

訓練があったかどうか知らない

Q14 前問で「参加したことがない。」(前問選択肢の2番目と3番目)と回答された方にお伺いします。

あなたが、訓練に参加しなかった理由はどれですか。(いくつでも)

訓練の必要性を感じないから

訓練場所が遠かったから

訓練時間が長かったから

自治会・町内会等の地域活動に関心がないから

家族が参加したから

面倒だったから

仕事や他の用事があったから

介助がないと参加が難しいから

その他

Q15 あなたは、兵庫県住宅再建共済制度（フェニックス共済）を知っていますか。

すでに加入している

内容は知っているが加入していない（下欄に加入していない理由をご記入ください）

言葉は見聞きしたことはあるが、内容は知らない

全く知らない

[防災力強化県民運動]

Q16 あなたは、防災対策として関心があるものはどれですか。（いくつでも）

家具の転倒防止

住宅の耐震化

食料等の備蓄

感震ブレーカー

県住宅再建共済制度

実践的な防災訓練

阪神・淡路大震災の経験・教訓

自主防災活動に関する防災講義

ワークショップ、危険箇所マップづくり等

津波、豪雨災害等に備える避難訓練

ひょうご安全の日推進事業助成制度

その他（下欄に具体的にご記入ください）

関心はない

Q17 津波や豪雨災害において安全に避難するために、あなたの地域で取り組まれていることは何ですか。（いくつでも）

フェンス、電柱等に海拔と津波高、避難場所の方向を表示

避難路沿道で倒壊の危険のある建物や豪雨時に土砂崩れの危険性のある地点の表示

津波や豪雨災害を想定した避難訓練の実施

災害時に避難行動や生活面等で何らかの配慮を要する人への支援体制づくり

避難したことを示す標識（シール等）の作成・配布

していない

知らない

その他（下欄に具体的にご記入ください）

Q18 地震や豪雨などの災害が発生したときに、あなたの近所に住んでいる高齢者、障害者、妊産婦、外国人など、自力で避難することが困難な人（あなたの家族を除く）に対して、あなたはどのような協力ができそうだと思いますか。（いくつでも）

安否の確認

災害状況や避難情報などの伝達

本人の家族や親戚等へ連絡

一時的な保護（あなたの自宅での保護など）

避難所等までの避難誘導・補助

応急手当

協力できそうにない

何をすればよいかわからない

その他（下欄に具体的にご記入ください）

Q19 前問で「協力できそうにない」と回答された方にお伺いします。あなたが協力できそうにないのはどのような理由からですか。（いくつでも）

自分や自分の家族が避難するだけで手一杯だから

自分の年齢や体調等を考えると、自信がないから

仕事の都合等で地域を離れている時間が長いから

近所付き合いがないため、自力で避難することが困難な人がどこにいるかわからないから

消防や警察が助けてくれると思うから

他の誰かがやると思うから

障害者や外国人等にどう接すればよいかわからないから

他人の命を預かる責任を負えないから

その他（下欄に具体的にご記入ください）

Q20 その他、防災・減災について、ご意見等があれば、お聞かせください。（下欄に自由にご記入ください。）